

施設長から ～医療介護支援住宅～

一週間前の春の大嵐で、すっかり木々からは薄ピンク色が一扫され、それまでに散らされて淡い桃色のじゅうたんのように道を覆い尽くして風に揺らいでいた花卉もどこかへ消えてしまいました。その分、陽光が力強さを増しながら晴天の折には初夏を思わせるような気温になってきました。生きとし生けるものが生命活動を活発化させる好時期です。しかし聞くところによると北部の社会福祉施設ではインフルエンザの集団感染がちらほらと見られているそうです。時期外れと思いながらも間断の無い感染対策を講じる必要があります。

さて、先月号で医療介護支援住宅「メゾン・クレアなごみ」について触れましたが、先日、4月二週目の土・日を利用して新しく開院する内科、脳神経外科、眼科、皮膚科の診療所と道路向かいの薬局、建物3階部分を占める支援住宅の内覧会を行いました。あいにくの空模様で足元が悪い中を二日間で述べ1500人以上の地域の方がお越しくださいました。主には新規に開業される診療所に足を運んでくださったようですが、支援住宅にも多くの方が興味を持ってくださったみたいです。そこで、その支援住宅について今号ではもう少し突っ込んでご紹介いたしたいと思えます。

本住宅は、安佐北区落合五丁目に新しくできるクリニックビル(3階建て)の一フロア(3階部分)を用いて一つの居室を簡易なマンションと考え、各診療所と連携をとって重度要介護者で、医療依存度も高く自宅での生活が困難な方に訪問看護や訪問介護等の医療や生活・介護の支援を行いながら少しでも安心・安全・安定を提供しようとする社会資源と考えています。全20ベッドで10室が個室、5室が二人部屋で、それぞれの部屋には吸引の中央配管が敷設されています。住宅の経営、つまり家賃や管理費・光熱水費、食事の提供を関連の株式会社が担います。医師による診察や薬の処方を医療法人が担い、服薬の管理指導等を“のぞみ薬局”からかかりつけ薬剤師が担います。医師の指示の下で訪問看護師が医療を提供し、ケアマネジャーの見立てで生活支援を訪問介護士が担い、それを私たち“なごみの郷”で担当いたします。訪問介護事業所(ヘルパー)は、介護保険制度の下でのサービスと一部自由契約でのサービスを提供することになりますので対象者は介護保険被保険者の高齢者ということになります。訪問看護事業所は、介護保険でも医療保険でも使うことができます。したがって、必ずしも高齢者のみが対象者とはなりません。若い方でも重篤な病気を抱えて生活支援が必要な方はいらっしゃいますから医療保険制度下でのサービス提供となります。あくまでも主治医(かかりつけ医)の指示が必要なため、かかりつけ医の判断で入居することが可能であり、そのかかりつけ医は指示さえいただければ近隣で開業されているどなたであっても構いません。住居は日割りで借り受けることもできますから眼科の白内障手術後の不安払拭のため、内科で内視鏡下生検や簡易な内視鏡下手術後の点滴管理や手術後の出血を確認するための短期間の宿泊もできます。

しかし、入院とは違った形の宿泊となるため個人契約による生命保険の入院特約等の対象とはなりません。当面は、二人部屋の一室をそのような短期宿泊が可能な住居にしていこうと考えています。一般的な利用については病気が重篤で身体機能的にも在宅生活が極めて困難な方であり強力な支援を必要としている方、がんの末期等重篤な疾病で看取りまで想定された方、特別養護老人ホームに入所するまでのある一定の期間だけの橋渡しのなご利用を想定しています。つまり看取り期に対するサービスであると考えています。この度の内覧会では、比較的に元気でいらっしゃる方がたくさん見学にお越しくださいました。私も幾人かの方のご質問を承りました。「まだ要支援(元気)だけど、将来病気で寝たきりになった時のことを考えると先生が傍にいてくださるところは安心」などという言葉がたくさん聞きました。部屋の概要は、個室には洗面とトイレが付いていますが、二人部屋には洗面のみ、もちろんテレビやテーブル、椅子など多少の家具を持ち込むことは可能ですが、個室で20㎡前後と決して広い空間とは言えません。正直なところ元気で動けるうちにわざわざお金を払ってまで入居したいと思うところではありません。私だったら自宅から通院してできるだけ自分の力で生活していきたいと考えます。それでも、歩くのも難しく、一人で生活できなくなった時には医療支援体制が整っているところは安心を感じられるのでしょうか。高齢期に入ってくると周りの馴染みの人の中には病気で介護が必要になったり、亡くなったりする方が増えてきて他人事ではなくなりません。自分がそうならないとは誰も保証してくれませんし、もしかしたら明日は我が身です。その時に困らない人生設計をしようと、大抵の方がそんな風に考えているということを改めて感じました。ある方から「突然そうなった時にすぐに入れますか?」とも聞かれました。もちろん「はい大丈夫です!」とは言い切れません。介護保険制度が始まって18年、今やいろいろな種類・サービス形態の社会資源が存在します。介護保険制度前からも老人福祉法に法的根拠を求めた社会資源が幾多もあります。『にのみやグループ』にもいくつかの種別の施設が存在します。私たちは“なごみの郷”で培ったノウハウを元に介護面も医療面もサポートしながら生活できる場所づくりを考えています。自立・要支援ではケアハウスを、要介護1.2でグループホームを、重たくなったら医療支援住宅、特養と言った住み替え型の利用方法も検討できるのではないのでしょうか。そのために、まず私たちが利用者の人となり(情報)を知らなければご本人のニーズに応えることはできません。お元気なうちからデイサービスにお越しください。

最期に特養のご案内です。4月12日、「二宮内科高陽クリニック」開院に伴い、特養“なごみの郷”の診療体制が嘱託医二名の体制となります。これまでの片野医師に中野医師が加わります。ご家族の皆様ご承知おきください。

平成29年4月25日
“なごみの郷” 松林克典

生き生き暮らす若返り教室



日 時 5月 2日(火)
 5月 9日(火)
 5月 16日(火)
 5月 23日(火)
 5月 30日(火)

いずれの日程も
 13:15~14:15

内 容:いきいき百歳体操

場 所:特別養護老人ホームなごみの郷 2F

持ち物:タオル



車での来所
 も可能です

★送迎について★

送迎をご希望の方は、前日
 までに“なごみの郷”に
 ご連絡ください。

TEL: 082-841-1335

主催: 広島市口田地域包括支援センター
 TEL 082-842-8818

新しく配属となりました!

皆さまこんにちは!

4月から『在宅生活継続支援事業』に配属となりました廣森靖司です。

この『在宅生活継続支援事業』は広島市各区で展開されており、特別養護老人ホームの介護のノウハウを、介護職員を通して伝達し、在宅での介護に活かして少しでも長くご自宅での生活をしていただくことが主目的となっています。例えば、排泄の失敗が多いが、どんなオムツやパットを使ったらいいのかわからない。車椅子からベッドへ移る際、腰が痛いけど腰の負担が少ない介助方法はないか。といったお悩みに対してご自宅へ伺い、より適切なアドバイスをさせていただきます。



私は特別養護老人ホームで介護職員として8年働かせていただきました。その経験を活かし、少しでも在宅で介護をされている方の力になればと思っています。何かお困りのことがありましたお気軽にご相談ください。

また、今まで「若返り教室」は月に1回開催していましたが、週に1度は“いきいき百歳体操”を継続した方が健康寿命には効果があるということもあり、4月度より毎週火曜日にさせていただくことになりました。“いきいき百歳体操”のカープの応援歌に合わせた体操は自然と楽しく運動ができます! いくつになっても元気で生き生きとした生活を送るためにも是非奮ってご参加ください!

在宅生活継続支援 廣森 靖司

スタッフ紹介

“なごみの郷”を支えてくれる新しい職員を紹介します！

みなさん、新しい職員の顔と名前を覚えてくださいね！

妹尾 博志 (せのお ひろし)

担当部署／役職名：訪問看護ステーション／看護師

生年月日：1979年11月7日

趣味／特技：フットサル／掃除

座右の銘：永劫回帰



昨年11月より入社させていただきました。看護師の妹尾博志と申します。
“なごみの郷”落合で特養とデイサービスを経験させていただき、今年の4月より高陽記念クリニックビルの“メゾンクリアなごみ”に訪問看護師としての配属となりました。

永劫回帰、仕事も家庭も充実したものになるよう、日々研修や資格取得など、自己研鑽に努めます。

全ては利用者様の笑顔のために、自分には何がどこまでできるのか、それをつき詰め続けること、それにつきると僕は思います。

平本 ひとみ (ひらもと ひとみ)

担当部署／役職名：特養 看護師

生年月日：1967年8月24日

趣味／特技：野球観戦

座右の銘：初心忘れるべからず



“なごみの郷”で働くことになって7ヶ月になります。

「慣れたでしょ。」とよく聞かれますが、まだまだ不安なこともたくさんあります。

職場の皆さまとしっかりコミュニケーションをとって利用者様や家族の方に安心して利用していただけるよう頑張ります。

また、プライベートではカープが大好きで“カープ愛”を大切にしています。

公式戦も始まり、これからの試合が毎回とても楽しみです。カープの応援も仕事も楽しみながら充実した日が送れるよう1日1日を大切に頑張りたいと思います。

ルペルト・グレース

担当部署／役職名：グループホーム亀山／介護職

生年月日：1986年10月15日

趣味／特技：料理

座右の銘：Time is gold



11月から“なごみの郷亀山”のデイサービスセンターで働くことになりました。まだ日本にきて日は浅いですが、大好きな利用者様との関わりの中から、日本語も上達してきました。これからも楽しい時間がたくさん過ごせるよう、一生懸命頑張ります。

出来 善美 (でき よしみ)

担当部署／役職名：亀山デイサービスセンター
／介護職

生年月日：1987年3月27日

趣味／特技：寝ること

座右の銘：良く笑う。前向きに考える。



12月26日から“なごみの郷亀山”デイサービスで勤務することになりました、出来善美です。今まで介護の仕事を経験してきましたが、デイサービスで働くことは初めてなので、最初は「私に勤まるかな。」と、心配していました。いざ働き始めると、先輩方にいろいろ教わりながら、今楽しく働くことができます。私は子どもが4人(10歳、8歳、3歳、1歳)いるので、お仕事と、家庭の両立を目指して日々頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。

竹下 政美 (たけした まさみ)

担当部署／役職名：ヘルパーステーション
／訪問介護員

生年月日：1974年6月9日

趣味／特技：ツーリング

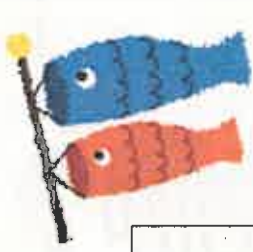
座右の銘：十人十色



今年の2月より勤務させていただいております。毎日利用者様の言葉や笑顔に救われています。

昨年熊本県阿蘇へツーリングに行きました。地元の方々からは「よく来てくださいました。」「この先も気をつけて。」などの温かい言葉や笑顔をいただき、心あたたまるツーリングとなりました。

毎回いろいろな所へツーリングに行き、多くの方との出会いがあり、話しをして楽しんでいます。これからもたくさんの人との出会いを大切にしていきたいと思います。



5月のお誕生者さま

氏名	生年月日	年齢	地区
鷹木 恒様	昭和 11 年 5 月 1 日	81 歳	落合・可部
檜垣 忠義様	大正 15 年 5 月 1 日	91 歳	落合
松村 皓三様	昭和 8 年 5 月 1 日	84 歳	落合
大江 マツエ様	昭和 10 年 5 月 4 日	82 歳	落合
小林 和江様	昭和 21 年 5 月 5 日	71 歳	落合
柴田 信子様	昭和 19 年 5 月 5 日	73 歳	落合
山田 雅子様	昭和 26 年 5 月 8 日	66 歳	落合
伊藤 かほる様	大正 15 年 5 月 9 日	91 歳	落合
橘高 秀美様	大正 10 年 5 月 9 日	96 歳	落合
佐々木 俊幸様	昭和 22 年 5 月 10 日	70 歳	落合・可部
石川 卓司様	昭和 3 年 5 月 11 日	89 歳	落合
柏木 ツボミ様	昭和 2 年 5 月 18 日	90 歳	落合
谷 サヨコ様	大正 15 年 5 月 18 日	91 歳	落合
萬代 光之様	昭和 13 年 5 月 19 日	79 歳	落合
三木 董様	昭和 8 年 5 月 21 日	84 歳	落合
渡 貞子様	大正 10 年 5 月 21 日	96 歳	落合
戸田 裕子様	昭和 2 年 5 月 22 日	90 歳	落合
瀬尾 實様	昭和 8 年 5 月 23 日	84 歳	落合
柿原 弘文様	昭和 12 年 5 月 24 日	80 歳	落合
中本 文子様	大正 11 年 5 月 25 日	95 歳	落合
竹内 妙子様	昭和 4 年 5 月 26 日	88 歳	落合
蓼沼 映男様	昭和 25 年 5 月 27 日	67 歳	落合
浅野 壹恵様	昭和 13 年 5 月 28 日	79 歳	落合
谷本 直人様	昭和 19 年 5 月 29 日	73 歳	落合
矢北 聖祐様	昭和 13 年 5 月 29 日	79 歳	落合
西川 勝様	昭和 7 年 5 月 30 日	85 歳	落合
益永 カノ工様	昭和 5 年 5 月 30 日	87 歳	落合
福島 蓉子様	昭和 15 年 5 月 8 日	77 歳	可部
増田 信江様	大正 11 年 5 月 28 日	95 歳	可部
山根 タマヨ様	大正 10 年 5 月 3 日	96 歳	亀山
新谷 順子様	昭和 4 年 5 月 4 日	88 歳	亀山
奥下 アヤノ様	大正 11 年 5 月 18 日	95 歳	亀山



お誕生日おめでとうございます!!
これからも皆様ますますお元気で!



あとがきではないけども・・・

5月、五月、May(メイ)。桜は過ぎ去り、皐月、薔薇、カーネーション、ツツジや藤が旬。この時期の花は色とりどりの艶やかさが映える。そして、それらの花にはそれぞれの花言葉が与えられている。普段何気なく見ている道端に咲いている花にも花言葉がついているようで、いろいろな理由があって付けられているとのこと。

では花言葉は一体誰がどのような目的で付けたのだろうか。調べてみると、ギリシャ神話や伝説などのエピソードからつけられているものが多く、起源は様々な説があるらしい。日本に伝わってきたのは明治時代の始めだと言われており、その後、西洋と日本とはもともと文化や歴史・風習などが違うため日本のカラーがミックスされて独自の花言葉を形成してきた様子。そのため、国によっては同じ花でも全く違った意味を持つことがあるらしい。つまり、花言葉は各国独自の文化の現れなのである。まあそんな蘊蓄はどうでもいい話であるが、咲き誇る様々なお花を目の当たりにして、ちょっと気になった話題である。

ところで、先日、学卒の新入職員9名が“なごみの郷”に入職してきた。その新入職員研修の中で小生が伝えたかった一つに「素直な心」というものがある。それは創業者として、松下電器産業(現パナソニック)㈱を世界的な企業へと発展させ、多くの人物者を育成した「経営の神様」と呼ばれた松下幸之助さんの『物の考え方・とらえ方・受け止め方』・・・その本質は「素直な心」。幸之助さんは職員のみならず、人を育てるために『素直になりなさい』と指導し続けていたのである。全てを受け入れる・・・生まれたばかりの赤ん坊のような真っ白な心になれば、不満は消え、心が豊かになる。すると、物事の真実が見えてきて、力強く成長できる。つまり、人間が成長して最も好ましい生き方を実現するには、それに相応しい考え方や行動をすることが必要であり、その根底になくしてはならないものが「素直な心」であるという、そんな教えである。実はこれが難しいのである。

では「素直な心」になるにはどうすればイイのか。まずは自身の頑固な一面を無くすこと。頑固は時として損をすることがある。業務に就いていると先輩からアドバイスされる機会が数多くあろう。しかし、本来ならば指導を受けるということはとても有難いことであるが、一方で自分が良かれと思って行ったことに修正が入るわけだから、どうしても反発心が芽生えてしまいがち。根柢に認められたいという気持ちがあるのだから防衛本能が働いてしまう。理性では理解できるし分からないでもない。仕事をしていて徐々に慣れてくると、力も備わってくるし少しずつ面白くなっていく。自信も湧いて来よう。でも、思うようにならない時は、足踏みをしているもどかしさを感じてしまう。特に利用者との関わりにおいて、非常に上手な対応をしている先輩と比較して、浅はかな対応しかできない自分がそこにあれば悔しい気持ちになるだろう。その時に大切なのは、まずは先輩の真似事をする。先輩の声に真剣に耳を傾け、自分のプラスになる部分をどんどん取り入れていくという素直な心と姿勢。

当たり前のことかもしれないが、自分の弱いところ、悪いところをしっかりと受け止めることができないと本当の意味で素直にはなりきれない。様々な仕事に挑戦して日常をもっと楽しくするためには、まずは自分の弱点と強みを素直に受け止め、先輩のアドバイスが自分にとってどの様に解釈して受け止めればプラスになるかを考えること。そしてそれが大事だと気が付くこと。そうしたらもっと成長して進んで行けるのである。

「素直な心」になること・・・難しいかも知れないけども、自然体で出来るように精進していきたいものである。もちろん小生も・・・。

さてさて、皆さまは「ジャスミン」というお花はご存じだろうか。見たことは無くとも聞いたことはあるだろう。白色または黄色の花を咲かせ、花は強い芳香を持ち、香水やジャスミン茶の原料として使用される花・・・。開花時期は種類によって異なるが5月は旬。花言葉は「素直」「官能的」「愛想」だとか・・・。

どうぞ皆さま、素直な感性で良き5月をお過ごしくださいませ。

合掌

矢矧 秀樹 拝

STAFF 発行所 / なごみの郷 おたっしやかわら版編集部

〒739-1732 広島市安佐北区落合南町196-1

T e l 082-841-1331

F a x 082-841-1336

U R L <http://www.nagominosato.jp>

Email nagomi@nagominosato.jp

★ 発行人 / 矢矧 秀樹

(当紙面は、個人情報保護法に基づき、掲載させていただいている個人の名前・写真などは、全てご本人様又はご家族様に了承をいただいております。)

なごみの郷 スローガン



元気で明るく家族と共に自立支援

～イキイキとした生活作りをお手伝いいたします～

平成29年スローガン

つなげよう思いやり 伝えようありがとう 感謝の心が育む笑顔